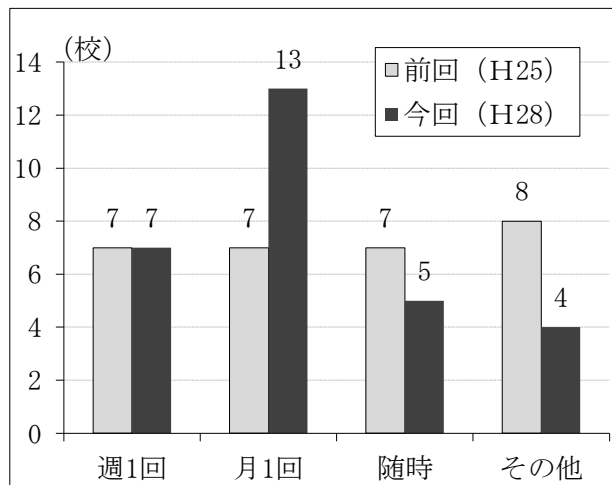


立川市立小・中学校における 特別支援教育に関する実態調査（平成 25 年度調査との比較）について

1 校内委員会について

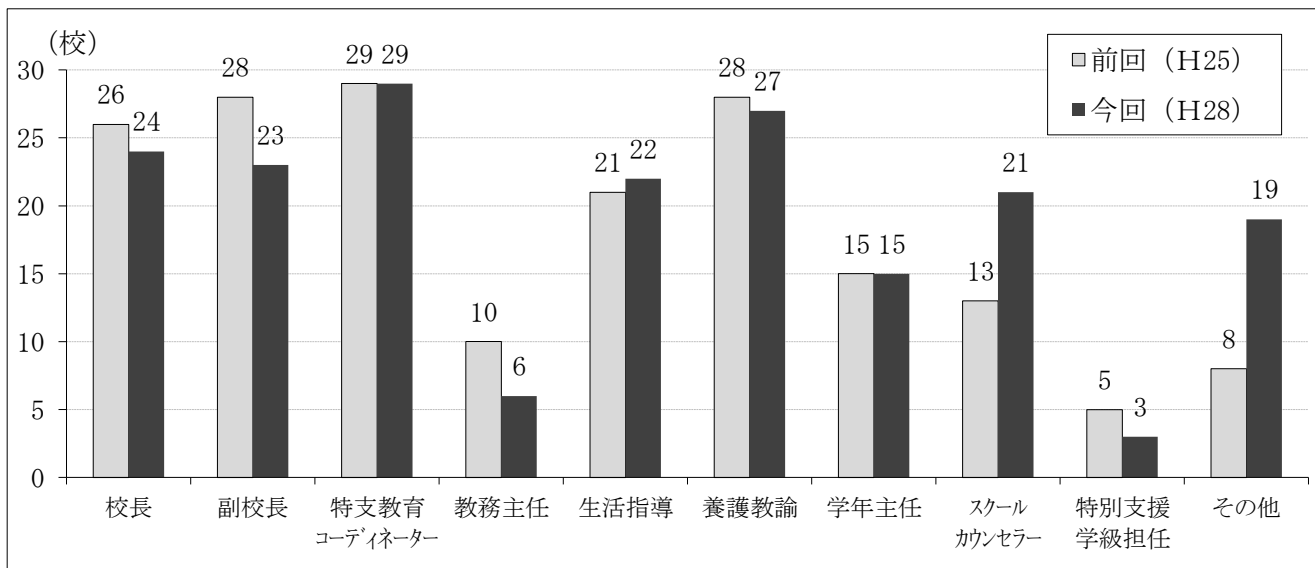
(1) 開催状況



「その他」：月に 2 回、学期に 2 回

前回の調査では、「週 1 回」、「月 1 回」、「随時」などの開催頻度について、回答した学校数は横並びの状況でしたが、今回の調査では、「月 1 回」と回答した学校が増加しています。

(2) 校内委員会のメンバー

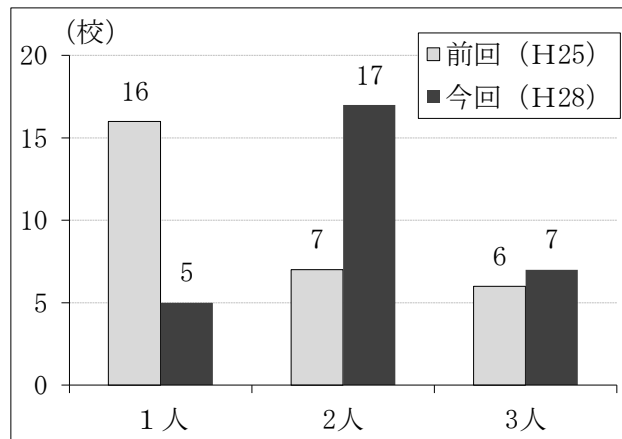


「その他」：当該児童・生徒の学級担任、教育支援課の巡回相談員、キラリ巡回指導教員など。

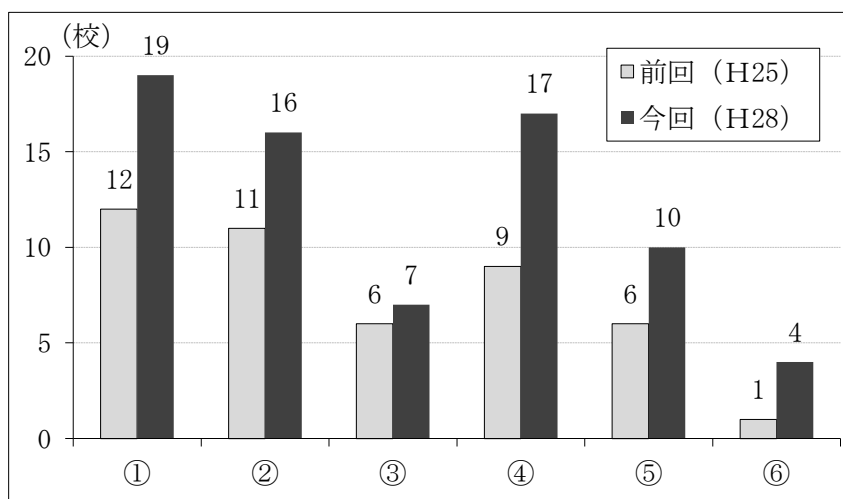
前回の調査時点より、特別支援教育コーディネーターの複数指名が進んだこと、スクールカウンセラーの勤務曜日に合わせて校内委員会を開催する学校が増えたこと、小学校の特別支援教室キラリから巡回してくる指導教員が、特別支援教育コーディネーター（副担当）となったことなどの状況変化が現れています。

2 特別支援教育コーディネーターについて

(1) 指名人数



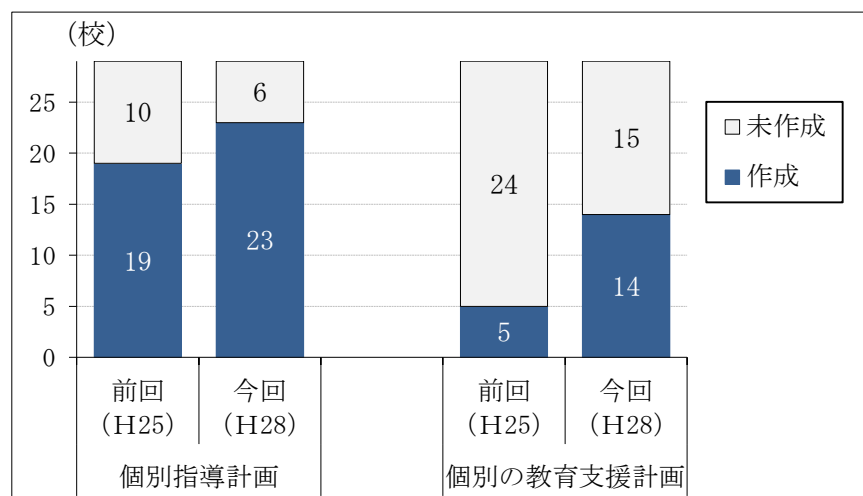
(2) 複数配置の理由について



- ①役割分担、負担軽減のため。
- ②複数の視点で業務を行うため。
- ③特別な支援や配慮を必要とする人数が多いため。
- ④校内の情報共有を円滑に行うため。
- ⑤特別支援学級が設置されているため。
- ⑥その他
(人材の育成、引継ぎの円滑化)

特別支援教育コーディネーターは、複数指名する学校が増加し、校内の情報共有や教員の負担軽減等が進んでいます。また教育委員会でも、経験の浅いコーディネーターには研修機会を増やすなど、人材育成にも努めています。

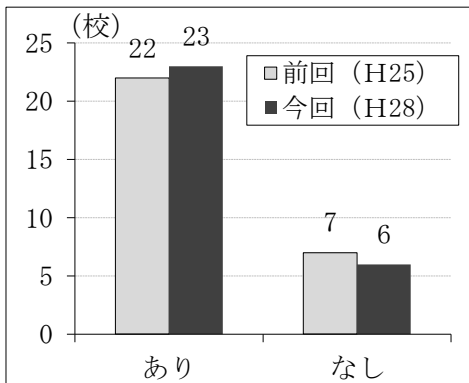
3 個別の教育支援計画、個別指導計画の作成状況



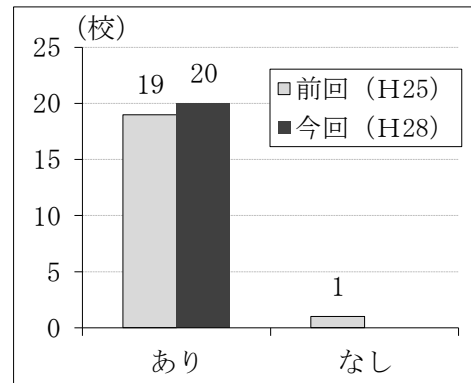
個別の教育支援計画、個別指導計画については、全市共通の様式や、作成対象となる児童・生徒の範囲を例示したことで、実際の作成数も大きく伸びています。

4 就学支援ファイル、就学支援シートについて

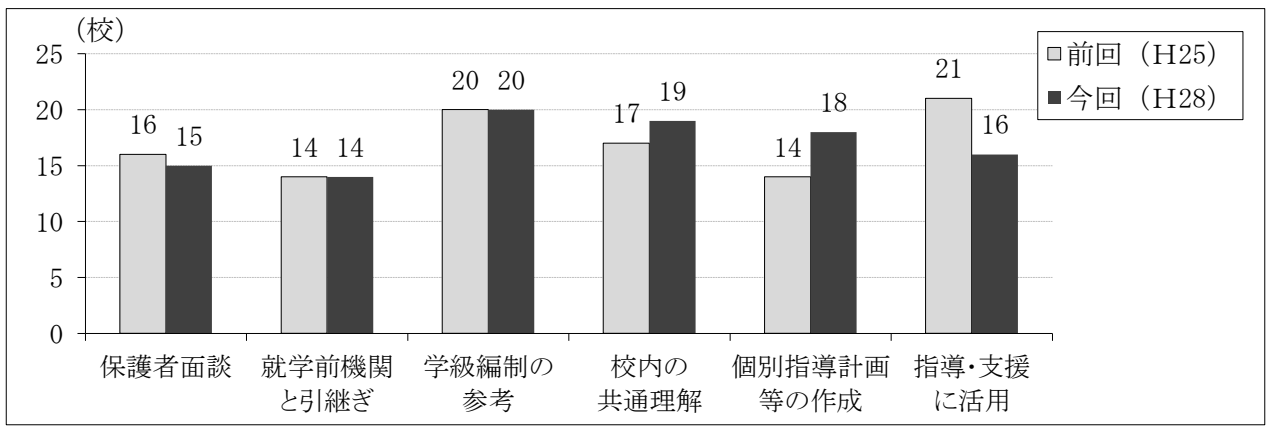
(1) 就学支援ファイルを受理した学校



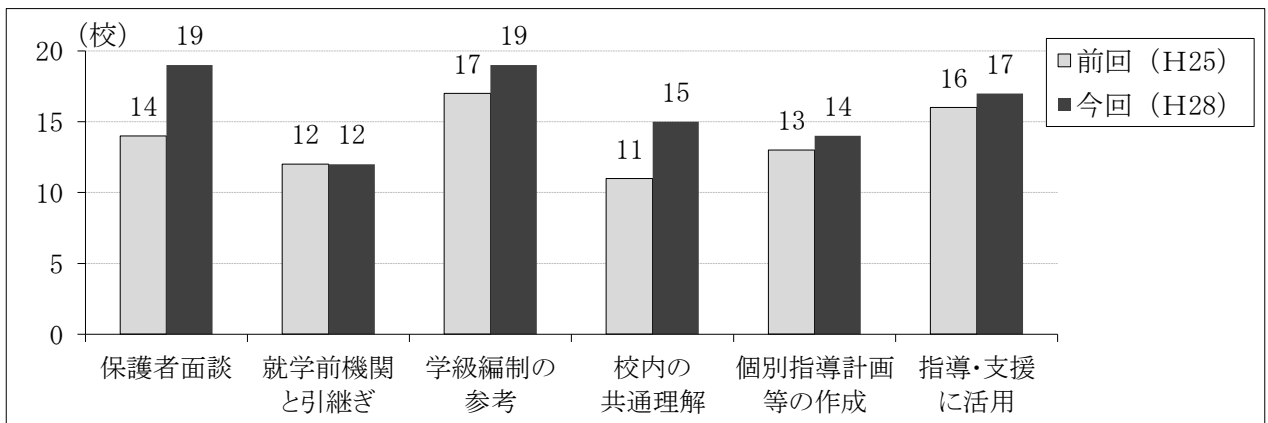
(2) 就学支援シートの提出があった小学校



(2) 就学支援ファイルの活用状況



(3) 就学支援シートの活用状況



5 特別支援教育をテーマとする校内研修の実施について

